

▼スピラマイシン錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】スピラマイシン spiramycin 【分類】抗トキソプラズマ原虫剤

【単位】▼150万単位/錠

【常用量】1回2錠, 1日3回 [900万単位/日]

【用法】1日3回

トキソプラズマ抗体検査, 問診等により妊娠成立後のトキソプラズマ初感染が疑われる妊婦に対して使用

【透析患者への投与方法】

【保存期 CKD 患者への投与方法】

【特徴】先天性トキソプラズマ症の発症抑制に妊婦に使用. トキソプラズマの細胞小器官であるアピコプラストでのタンパク合成を阻害する.

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, SJS/TEN, 偽膜性大腸炎, 肝障害, QT 延長, 血球減少, 皮膚症状, 消化器症状など

【安全性に関する情報】

【吸収】食事の影響を受けない (1)

【F】33% (1)

【tmax】

【代謝】

【排泄】尿中回収率 4% [po, 7hr] (1)

【t1/2】9hr (1)

【蛋白結合率】30% (1)

【Vd】全身に分布し, 食細胞に良好に移行 (1)

【MW】843.05 (I), 885.09 (II), 899.12 (III)

【透析性】

【OW 係数】

【相互作用】QT 延長薬剤との併用注意 (1) レボドパ/カルビドパ: カルビドパの吸収を阻害し, レボドパの血中濃度低下 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】授乳中止 (1)

【主な臨床報告】

【更新日】20190605

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。